



図書館だより

令和6年10月号
近衛中学校 図書館
読書の秋 特集号

読書の秋！見つけよう！！自分の1冊！！



心地よい10月。学習や行事、部活動など、忙しいですが、充実した素敵な季節！

「秋の夜長」のスキマ時間に、ワクワクして読める本を探してみませんか？

ミステリーや感動本、学習、部活動に役立つ本…この時期にしか読めない本を、ぜひ図書館で見つけてください。

「給食アンサンブル 1・2」 作者：如月かずさ 出版社：光村図書

転校生：孤独な優等生：部活を辞めたことを引きずる：熱くなれない：長い片思い……。それぞれに迷いや悩みを抱えた中学生たちが主人公。彼らの胸にひそむほんとうの気持ちが、食べることをきっかけに変わっていく。給食が教えてくれる、心に響くアンサンブルストーリー。一話ごとの主人公がつながっていくのも楽しい短編集です！



全国読書週間がはじまります♪10/27～



第2次大戦終戦2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「**読書の力によって、平和な文化国家を創ろう**」と、出版社・書店、図書館、新聞や放送のマスコミも一緒になって、第1回**「読書週間」**が行われました。それから70年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民の国」となりました。考える力のもととなる読書。中高時代にしっかり読んでおきたいですね。

今年の標語は

「この一行に逢いにきた」

忘れられない本の中の一行。作者の思いも伝わります。新しい出逢いと本の世界！楽しんでみませんか？

78回めの、この「読書週間」が、皆さん一人一人に、読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。





さわやかな秋のオススメ本！



心が元気になる 美しい絶景と勇気のことば

目が覚めるように美しい鮮やかな景色と、素敵な言葉。それは、困難を乗り越えてきた人たちの言葉。読むことで、元気をもらえます。一日の初めに読んだり、終わりに読んだり…心安らかに、リラックスしたい人におすすめです。



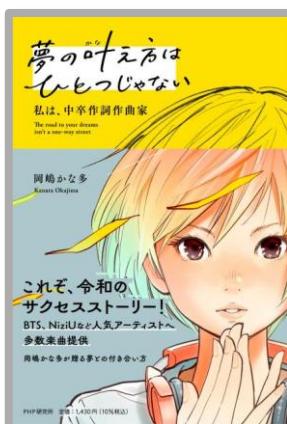
グレタ・トゥーンベリ

目立つことは好きじゃないけど…17歳のグレタは〈気候のための学校ストライキ〉を始め、地球温暖化の深刻さを訴えた。2019年“国連気候変動サミット”、2020年“ダボス会議”、話題のスピーチ全文掲載。



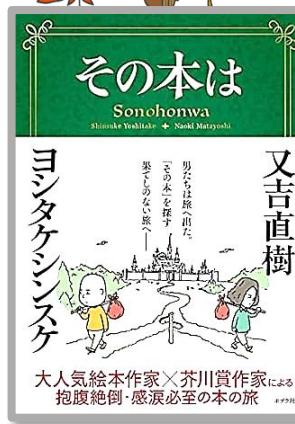
口ケットの科学

地球のまわりは多くの人工衛星が周回。その衛星のおかげで、スマートフォンの位置情報がわかります。衛星を宇宙に打ち上げてきたのは、数々の口ケット。写真やイラストで、開発の歴史と今、世界と日本の口ケット50種超を解説する必見の1冊です！



夢の叶え方は ひとつじゃない

BTS、NiziUなど人気アーティストへ多数楽曲を提供し、中卒から人気作詞作曲家になった岡嶋かな多氏が、「夢を叶える」ヒントを教えてくれる！自己肯定感が低かったという10代から、「音楽で、誰かのためにになりたい」という夢を叶えるまでを語ります。



その本は

本好きな年寄りの王様が二人の男に、世界中のめずらしい本についての話を集め、話を聞かせなさいと命令します。旅に出た男たちは、たくさんの本の話を持ち帰り、王様のために夜ごと語り出しますが…。



夢のお仕事さがし大図鑑

200の名作マンガから、人気の170のお仕事を紹介。どんな仕事か、どうしたらなるか、必要な資格は？など、丁寧にしっかりと解説。職業体験学習にも役立ちますよ。将来なりたい職業を楽しみながらさがせる、仕事図鑑です。



その他、学習や、部活動関係に役立つ新しい本も入っています！ぜひ、秋の図書館をのぞきに来てくださいね♥(^^♪



前期委員会の皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



4月～9月で、貸出が比較的多かった本を15作品紹介します。
ぜひ、参考にしてみてください！（並び順は順位ではありません。）



「いつでも君のそばにいる」
(リト@葉っぱ切り絵)



「5分後」「悩み部」
シリーズ(学研・河出
書房)



「成瀬は天下を取りに
いく」(宮島未奈)
2024 本屋大賞作品



「からだのしくみを学べ
る! はたらく細胞 人体のふ
しぎ図鑑」
(講談社編集)



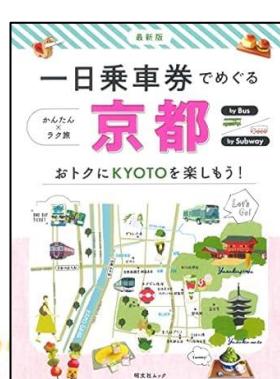
「はたらく細胞 ウィル
ス&細胞図鑑」
(講談社編集)



「成瀬は信じた道をい
く」(宮島未奈)



「変な家」(雨穴)



「一日乗車券でめぐ
る京都」
(昭文社編集)



「52ヘルツのクジラ
たち」(町田そのこ)
2021 本屋大賞作品



「東方儂月抄」
(ZUN)



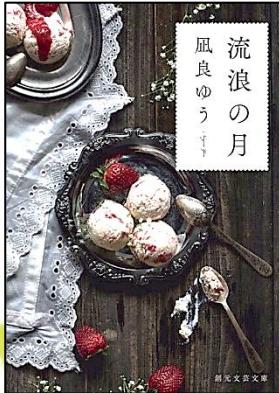
「頂上決戦！世界の昆虫最強王決定戦」
(Creature Story 編著)



「謎解きはディナーのあとで」(東川篤哉)
2011年本屋大賞



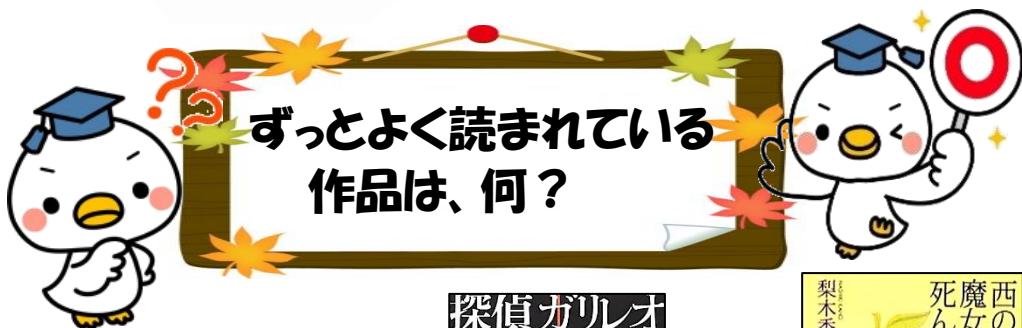
「同志少女よ、敵を撃て」(逢坂冬馬)
2022年本屋大賞



「流浪の月」
(凧良ゆう)
2020年本屋大賞



「池上彰の君と考える戦争のない未来」
(池上彰)

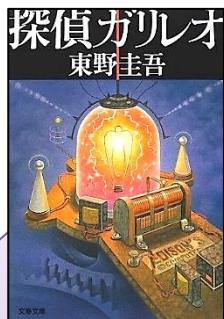


ずっとよく読まれている
作品は、何？



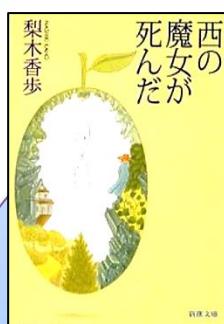
「博士の愛した数式」
(小川洋子)

80分しか記憶が持たない博士と、家政婦の「私」、その息子の3人の心のふれあいを描く。第1回本屋大賞作品。



「探偵ガリレオ」
(東野圭吾)

ご存じ、ガリレオシリーズの第一作。科学の事実で、ミステリーを解く湯川学が実際にかっこよいです！



「西の魔女が死んだ」
(梨木香歩)

学校に溶け込めない少女が、祖母から受けた魔女の手ほどき。何事も自分で決めるのが、修行のかなめで……。



「都会のトム&ソーヤ」
(はやみねかおる)
秀才で、巨大企業の後継者である創也、塾通いに追われるふつうの同級生・内人が、力を合わせて究極のゲーム作りの夢を追いかける！



あなただけの「推し本」！
をさがしてね！

推しあ
勝たん！